平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別演習Ⅱ（Environmental InformationEngineering Seminar Ⅱ ）	授業コード	M001208
担当教員名	廣田　篤彦	科目ナンバリングコード	R30402
配当学年	2	開講期	通年
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	特別研究を遂行するための基礎知識の習得、研究手法の学習を目的とする科目であり、修士論文の指導と関連して実施します。		
受講心得	授業時間に限らず、日常的な取り組みが重要です。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	既往研究、学会資料ほか		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ（Environmental InformationEngineering Seminar Ⅰ ）		

授業の目的	特別演習Ⅰでの成果を踏まえ、専攻分野における現状認識と課題の整理を行い、取り組むべきテーマの絞り込みと設定を行う。
授業の概要	研究テーマに基づいた都市・建築に求められる空間像、およびそれを達成するための誘導手法について模索し、学術的・論理的、技術的に解明するための手順、方法等について理論構築を行う。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 課題の説明とスケジュール	
第 2 週 ： 文献調査(1)	
第 3 週 ： 文献調査(2)	
第 4 週 ： 調査項目、調査スケジュールの検討(1)	
第 5 週 ： 調査項目、調査スケジュールの検討(2)	
第 6 週 ： 予備調査(1)	
第 7 週 ： 予備調査(2)	
第 8 週 ： データ整理(1)	

第 9 週 : データ整理（2）	
第10週 : 本調査（1）	
第11週 : 本調査（2）	
第12週 :　データ整理（3）	
第13週 : データ整理（4）	
第14週 : データ解析（1）	
第15週 : データ解析（2）	
第16週 :	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	都市・建築や社会・環境に関心を持ち、それに関わる問題意識を有する
【知識・理解】	既往研究を踏まえ、有用性と独創性に富んだ自身の研究テーマを設定する
【技能・表現・コミュニケーション】	調査結果を踏まえた適切なデータ集計を行い、必要に応じて大変量解析やGIS等を用いて分析を行い、得られた成果を纏めるとともに、学内外での発表も積極的に行う
【思考・判断・創造】	都市・建築や社会・環境に関わる問題意識を有し、それを解決するための方策を検討する

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		10点	10点	

【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	15点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		15点	15点

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	
発表・その他 （無形成果）	